

令和 7 年 9 月 5 日

保護者の皆様へ

安城市立志貴小学校長 長坂 祐一

令和 7 年度 全国学力・学習状況調査の報告について

日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
さて、4 月 17 日(木)に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果をまとめました。この結果を、今後の教育活動に生かしていきたいと考えていますので、よろしくお取り計らいください。なお、この調査は 6 年生のみの一部の教科の調査であり、子どもたちの全ての学力や生活の様子を表しているものではありません。

1 本校 6 年生の特徴や傾向 ○：よくできている △：課題がある

【国 語】

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。
- 学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
- △目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つける。
- △時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。
- △書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える。

【算 数】

- 異分母の分数の加法の計算をすることができる。
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができる。
- はかりの目盛りを読むことができる。
- △目的に応じて適切なグラフを選択して数の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。
- △基本図形に分解することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述する。
- △小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉える。

【理 科】

- 結果や問題に対するまとめを基に、他の条件での結果を予想して、表現する。
- 温度によって水の状態が変化するという知識を基に、水の蒸発について概念的に理解している。
- △身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識がある。
- △差異点や共通点を基に新たな課題を見いだして記述する。
- △結果を基に結論を導いた理由を記述する。

【質問紙より】

○学校や家庭生活で、現状を維持していきたい項目

- ・毎日同じくらいの時刻に就寝・起床している。
- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- ・友達関係に満足している。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- ・国語・算数・理科の勉強は社会に出たときに役立つと思っている。
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。
- ・学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用している。

△学校や家庭生活で、改善が必要な項目

- ・新聞を読む。
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む
- ・自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問をもったり問題を見いだしたりする。
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、勉強をする。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。）
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、PC・タブレットなどの ICT 機器を勉強のために使う。

2 改善に向けての対応

- ・落ち着いた授業、基礎的な学習内容の習得が、学力向上につながります。全校体制で学習規律の指導を継続します。
- ・「学びたい」「知りたい」という意欲がもてるように、子供の興味・関心に寄り添った授業を展開します。授業の中で他者との対話を取り入れることで、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにします。
- ・与えられた課題に取り組むだけでなく、児童一人一人が主体的に課題を設定し、解決しようとする態度の育成を図ります。
- ・本人の興味・関心、学習への理解度等を踏まえ、適切な家庭学習の量や内容を自分で決められるような支援を行います。
- ・家庭でもタブレットなどの ICT 機器を学習のために使えるように、ICT 機器の効果的な活用法を指導し、家庭学習の内容や方法を工夫します。

3 ご家庭へのお願い

規則正しい生活リズムが、学校での落ち着いた生活につながります。家庭学習の習慣や食生活を含む適切な生活習慣の確立には、ご家庭の支援が欠かせません。学校の方針にご理解をいただき、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。